



# 2010年3月期 決算説明会

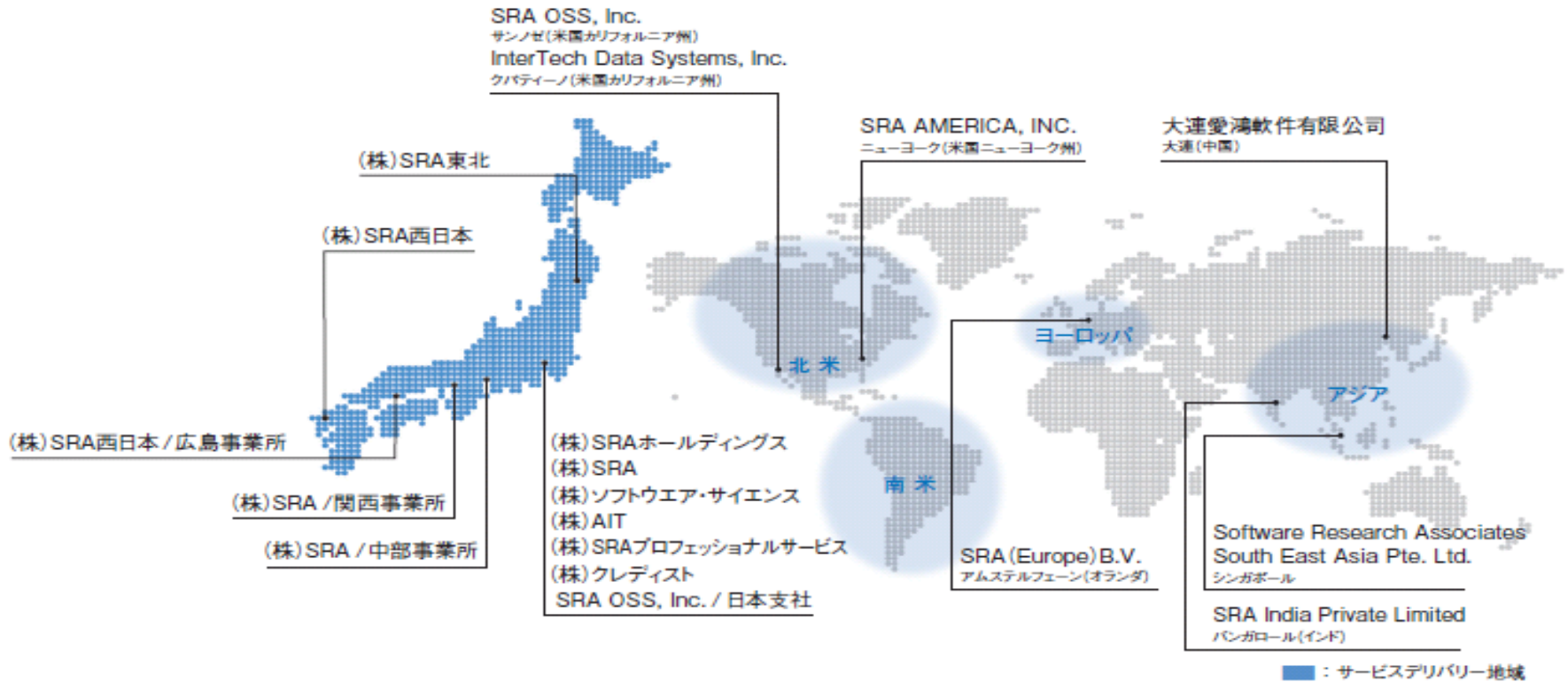
株式会社 **SRAホールディングス**  
SRA Holdings, Inc.

代表取締役社長 鹿島 亨

2010年5月19日

# SRAグループ

グループ子会社 14社  
うち連結対象子会社 10社



# 目次

- (1) 2010年3月期 決算概要
- (2) 2011年3月期 計画と取り組み

A decorative graphic in the top right corner featuring three butterflies (green, pink, and orange) flying over a white arch. Below the arch, a multi-colored rainbow (yellow, blue, purple, pink) curves downwards across the page.

## (1) 2010年3月期 決算概要

# 2010年3月期計画(2010年2月公表)と実績

単位:百万円

	2010年3月期 実績	2010年3月期 計画	差異
売上高	34,053	34,000	+53
売上高成長率	△18.5%	△18.6%	+0.1%
営業利益	1,997	2,100	△102
営業利益率	5.9%	6.2%	△0.3%
経常利益	2,059	2,100	△40
経常利益率	6.0%	6.2%	△0.2%
当期純利益	1,238	1,150	+88

# 2010年3月期 セグメント別売上高(連結)

単位:百万円

	2010年3月期 実績	2009年3月期 実績	差異
開発事業	17,831	22,837	△5,006
運用・構築事業	4,130	5,078	△948
販売事業	12,091	13,861	△1,769
合計	34,053	41,777	△7,724

# 2010年3月期 主要子会社別売上高

単位：百万円

	2010年3月期 実績	2009年3月期 実績	差異
(株) SRA	17,685	23,093	△5,407
(株) AIT	10,536	11,355	△819
国内開発 子会社	3,878	4,659	△781
海外 子会社	2,879	3,495	△615

※連結相殺前の数値

# 業績分析(連結) 売上高

■売上高 340億53百万円

対前年度 77億24百万円(18.5%)減

## <要因>

### ◎開発事業

＝証券業および製造業向け受注が大幅に減少

### ◎運用・構築事業

＝学校関連が微減、企業関連の受注が大きく落ち込む

### ◎販売事業

＝(株)AIT: サーバー中心の機器販売の中規模案件の受注等が好調だったが金融機関向けの大型案件があった前年度より減少

(株)SRA: パッケージ等の販売が減少



# 業績分析(連結) 営業利益・経常利益

■ 営業利益	19億97百万円(対前年度47.7%減)
■ 営業利益率	5.9% (←前年度9.1%)
■ 経常利益	20億59百万円(対前年度47.1%減)
■ 経常利益率	6.0% (←前年度9.3%)

## <要因>

### ↓ ◎粗利益の減少

- ・売上高の減少
- ・主要顧客である証券業の受注単価の想定以上の下落
- ・第2四半期に計上した工事損失引当金を継続して計上

### ↑ ◎販管費の抑制

# 業績分析(連結) 当期純利益

- 当期純利益 12億38百万円(対前年度39.3%減)
- 1株当たり当期純利益 89.48円(対前年度58.04円減)

# 参考：2010年3月期 キャッシュ・フロー(連結)

	2010年3月期	2009年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	2,025	2,194
キャッシュ・フローマージン (%)	5.9%	5.3%
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△2,714	△852
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△737	△772
現金及び現金同等物の増減額 (百万円)	△1,428	487
現金及び現金同等物の期末残高 (百万円)	10,324	11,753

## <主な要因>

### ◎営業活動によるキャッシュ・フロー

プラス要因：税金等調整前当期純利益2,115百万円、売上債権の減少1,328百万円

マイナス要因：法人税等の支払1,100百万円、たな卸資産の増加394百万円等

### ◎投資活動によるキャッシュ・フロー

マイナス要因：投資有価証券の取得2,243百万円、

有形固定資産及び無形固定資産の取得456百万円等

### ◎財務活動によるキャッシュ・フロー

マイナス要因：配当金の支払553百万円、短期借入金の純減額174百万円等

# 参考：企業価値の向上

## 株主を中心とするステークホルダーの期待に応える

### ■ 株主への利益還元

#### 【配当性向】連結配当性向20%を目処

2009年3月期：27.1%

2010年3月期：44.7%

2011年3月期：36.9%(予想)

#### 【1株当たり配当金】

2009年3月期：40円 [普通配当]

2010年3月期：40円 [普通配当]

2011年3月期：40円(予想) [普通配当]

### ■ 連結ROEの2桁確保、維持を目指す

2009年3月期：15.0%

2010年3月期：8.5%

2011年3月期：10.0%(予想)

# 参考：2010年3月期（株）SRA 単体業績

単位：百万円

	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期
売上高	25,711	23,093	17,685
営業利益	2,949	2,504	1,076
経常利益	3,190	2,810	1,342
当期純利益	1,884	1,658	853

# 参考：2010年3月期 (株)SRA 子会社業績

		2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期
AIT	売上高	12,317	11,355	10,536
	経常利益	745	762	506
ソフトウェア・サイエンス	売上高	2,328	2,245	1,516
	経常利益	210	60	100
SRA西日本	売上高	1,282	1,300	1,133
	経常利益	154	159	129
SRA東北	売上高	1,092	1,113	1,228
	経常利益	65	68	21
SRAアメリカ SRAヨーロッパ	売上高	2,233	1,946	1,986
	経常利益	228	274	165
SRA OSS	売上高	1,568	1,808	1,136
	経常利益	93	79	29
クレディスト	売上高	259	327	219
	経常利益	32	44	6
その他の子会社	売上高	1,094	1,001	629
	経常利益	10	△14	14
子会社合計	売上高	22,177	21,099	18,386
	経常利益	1,540	1,435	974

単位：百万円



## (2) 2011年3月期 計画と取り組み

# 2011年3月期 計画

単位：百万円

	2011年3月期計画	2010年3月期実績	差異
売上高	35,500	34,053	+1,446 (+4.2%)
粗利益	7,100	5,711	+1,388 (+24.3%)
粗利益率	20.0%	16.8%	+3.2%
販売管理費	4,500	3,713	+786
販管比率	12.7%	10.9%	+1.8%
営業利益	2,600	1,997	+602 (+30.1%)
経常利益	2,600	2,059	+540 (+26.2%)
経常利益率	7.3%	6.0%	+1.3%
当期純利益	1,500	1,238	+261
1株当たり当期純利益	108.38円	89.48円	+18.9円
1株当たり配当金	40円	40円	—

※2011年3月期計画 販売管理費には「投資」を含む



# 2011年3月期 計画（セグメント別売上高）

単位：百万円

	2011年3月期 上期	2011年3月期 下期	2011年3月期 計画	2010年3月期 実績
開発事業	8,500	10,200	18,700	17,831
運用・構築事業	2,180	2,120	4,300	4,130
販売事業	5,620	6,880	12,500	12,091
合計	16,300	19,200	35,500	34,053

# 2011年3月期 計画（主要子会社別売上高）

単位：百万円

	2011年3月期 計画	2010年3月期 実績	差異
(株) SRA	18,800	17,685	+1,115
(株) AIT	11,000	10,536	+464
国内開発 子会社	4,000	3,878	+122
海外 子会社	2,880	2,879	0

※連結相殺前の数値

# 2011年3月期 計画（利益配分基本方針と配当）

2011年3月期＝普通配当40円維持を予想

## ＜利益配分基本方針と配当＞

- ① 配当方針＝「連結配当性向20%を目処」とする
- ② 「連結ROE 2桁の維持・確保」を経営目標のひとつとしており、株主資本の効率的運用を重視した経営を目指す
- ③ 資産・資本の効率的運用という観点から、成長性確保に向けた投資に取り組むと共に、「株主への利益還元」も優先度が高いと判断する

# 2011年3月期の取り組み方針



前年度の  
再チャレンジ!

① 安定的な受注体制の確立

② 粗利益率向上&コスト抑制

③ 飛躍への布石

# 2011年3月期の取り組み方針

## ① 安定的な受注体制の確立

### ■ 営業プロセスの確立

#### ◎「オポチュニティ」の創出

⇒確実に「契約」につなげる

- ・既存顧客の拡大および他部門、グループ会社への展開
- ・ライフサイクル営業の推進
- ・成功事例の横展開
- ・証券・製造(組込)分野の受注拡大  
およびリスク分散のための他業種(電力、文教、JR等)シェア向上
- ・受注活動における情報共有⇒グループシナジーの発揮

# 2011年3月期の取り組み方針

## ② 粗利益率向上 & コスト抑制

### ■ 原価マネジメントの強化

#### ◎ 生産効率の向上

- ・プロジェクト管理環境の共有化
- ・開発フレームワークの統一化: SRA開発製品「UniVision」の全社活用
- ・ソースコード検索ツール(SRA開発製品「CodeDepot」)の全社活用

### ■ オフショア開発(インド・中国)の推進

発注: 2010年3月期実績 700人月 / 2011年3月期計画 1,020人月

### ■ 販管費抑制

2010年3月期実績 3,713百万円(販管比率10.9%)

2011年3月期計画 4,500百万円(販管比率12.7% **「投資」**を含む)

### ■ 製品ビジネスの推進(マイグレーション需要への対応を含む)

## ③ 飛躍への布石

### ■ 海外ビジネス(欧米+アジア、中国)の拡充

◎SJI、DCHとの協働による中国市場へのビジネス展開

第一段階:日系グローバル企業をターゲット

現地の社会インフラ投資のビジネスチャンス確保

◎SRA OSS, Inc. とProxim社との業務提携を基にした

欧米、成長市場(BRICs)へのSI+無線分野の事業展開



### ＜将来見通し等に関する注意事項＞

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提としており、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。